

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月13日

会社名 新コスモス電機株式会社

(JASDAQ・コード番号：6824)

(URL <http://www.new-cosmos.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 重盛徹志

問い合わせ先 責任者役職名 経理財務部長
氏名 前條忠則

TEL：(06)6309-1502

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

・法人税等の計上基準及びその他一部については、簡便的な方法を採用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	11,711	17.4	860	94.9	913	91.5	588	84.8
18年3月期第3四半期	9,973	△2.3	441	△33.0	477	△31.8	318	△28.8
(参考) 18年3月期	14,413		956		996		686	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	47 60	—
18年3月期第3四半期	25 67	—
(参考) 18年3月期	55 39	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成18年4月1日から平成18年12月31日まで）におけるわが国経済は、米国経済の減速や国内消費が伸び悩む一方で、設備投資は好調さを持続し、雇用も拡大しており、景気は緩やかな拡大を続けました。

このような環境のもとで、当社グループはお客様の視点に立った新商品開発、営業・サービス体制および品質管理体制の強化をはかり、主力のガス警報器・ガス検知器の積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、家庭用ガス警報器、工業用定置式ガス検知警報器、業務用携帯型ガス検知器のいずれも堅調に推移し、売上高は117億1千1百万円と前年同期に比べ17.4%の増収となりました。利益につきましても、経常利益が前年同期に比べ91.5%増の9億1千3百万円となりました。また、第3四半期純利益も前年同期に比べ84.8%増の5億8千8百万円となりました。

商品別の概況は以下のとおりであります。

・家庭用ガス警報器

都市ガス用につきましては、更新需要の停滞期を脱したことに加え、火災警報機能付商品の販売が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

L Pガス用につきましては、拡販に努めた結果、売上高は前年同期並みとなりました。

住宅用火災警報器につきましては、昨年6月の消防法改正による設置義務化に伴い、販売は順調に推移しました。その結果、家庭用ガス警報器の売上高は前年同期を上回りました。

・工業用定置式ガス検知警報器

工業用につきましては、半導体業界を中心とした半導体製造ガス用ガス検知警報器やL Pガス業界向けの可燃性ガス用ガス検知警報器が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

・業務用携帯型ガス検知器

業務用につきましては、超小型酸素計やマルチ型ガス検知器などの販売が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

・その他

口臭測定器が順調に販売を伸ばしましたが、その他の商品が伸び悩み、売上高は前年同期を下回りました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	22,078	17,099	77.1	1,376 84
18年3月期第3四半期	19,323	16,141	83.5	1,304 85
(参考) 18年3月期	20,546	16,636	81.0	1,344 88

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	340	△158	△161	7,500
18年3月期第3四半期	118	△227	△376	7,033
(参考) 18年3月期	841	△495	△384	7,479

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて15億3千2百万円増加して220億7千8百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加9億4千1百万円及び売上債権の増加7億2千2百万円があったものの、現金及び預金の減少7千9百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億3千万円増加して49億7千9百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の増加14億2百万円があったものの、未払金の減少2億5千3百万円及び賞与引当金の減少1億1千7百万円によるものであります。

純資産は、170億9千9百万円となり1株当たり純資産は、1,376円84銭となりました。

これは主に、利益剰余金の増加4億2千7百万円があったものの、その他有価証券差額金の減少3千2百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、支払方法の変更(一括支払信託の導入)による影響もあり、77.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2千万円(0.3%)増加して75億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億4千万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加9億4千1百万円及び売上債権の増加7億2千2百万円があったものの、仕入債務の増加14億2百万円及び税金等調整前四半期純利益9億7百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は、1億5千8百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億5千3百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は、1億6千1百万円となりました。

これは、配当金の支払いによるものであります。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 16,200	百万円 1,160	百万円 700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 56円59銭

※ 上記予想は、現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、実際の業績は、業況の変化などにより、大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(資産の部)		%		%		%	
I 流動資産							
1. 現金及び預金	6,641,462		7,008,199		7,088,118		
2. 受取手形及び売掛金	3,410,249		4,977,315		4,254,460		
3. 有価証券	459,136		546,012		464,157		
4. たな卸資産	2,756,926		3,343,989		2,402,950		
5. その他	196,650		302,633		293,229		
流動資産合計	13,464,424	69.7	16,178,151	73.3	14,502,915	70.6	1,675,235
II 固定資産							
1. 有形固定資産	3,688,843	19.1	3,629,274	16.4	3,720,921	18.1	△91,646
2. 無形固定資産	345,972	1.8	315,590	1.4	339,286	1.6	△23,696
3. 投資その他の資産	1,824,214	9.4	1,955,949	8.9	1,983,172	9.7	△27,222
固定資産合計	5,859,029	30.3	5,900,814	26.7	6,043,380	29.4	△142,566
資産合計	19,323,454	100.0	22,078,965	100.0	20,546,296	100.0	1,532,669

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(負債の部)		%		%		%	
I 流動負債							
1. 支払手形及び買掛金	1,367,559		2,954,925		1,552,401		
2. 未払金	317,235		280,958		534,600		
3. 1年以内返済予定長期借入金	7,700		—		—		
4. 未払費用	85,279		86,775		92,403		
5. 未払法人税等	34,320		249,376		212,735		
6. 賞与引当金	81,028		119,650		237,459		
7. その他	342,671		392,138		351,533		
流動負債合計	2,235,795	11.6	4,083,825	18.5	2,981,133	14.5	1,102,691
II 固定負債							
1. 退職給付引当金	766,849		760,224		744,515		
2. 役員退職慰労引当金	102,921		124,626		106,941		
3. その他	18,627		10,947		16,707		
固定負債合計	888,398	4.6	895,797	4.1	868,164	4.2	27,633
負債合計	3,124,194	16.2	4,979,622	22.6	3,849,298	18.7	1,130,324
(少数株主持分)							
少数株主持分	58,173	0.3	—		60,721	0.3	—
(資本の部)							
I 資本金	1,460,000	7.5	—		1,460,000	7.1	—
II 資本剰余金	934,443	4.8	—		934,443	4.6	—
III 利益剰余金	13,779,071	71.3	—		14,147,393	68.9	—
IV その他有価証券評価差額金	246,061	1.3	—		372,930	1.8	—
V 自己株式	△278,490	△1.4	—		△278,490	△1.4	—
資本合計	16,141,087	83.5	—		16,636,277	81.0	—
負債、少数株主持分及び資本合計	19,323,454	100.0	—		20,546,296	100.0	—

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	—	—	1,460,000	6.6	—	—	—
2. 資本剰余金	—	—	934,443	4.2	—	—	—
3. 利益剰余金	—	—	14,575,383	66.0	—	—	—
4. 自己株式	—	—	△278,490	△1.2	—	—	—
株主資本合計	—	—	16,691,337	75.6	—	—	—
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	—	—	340,297	1.5	—	—	—
評価・換算差額合計	—	—	340,297	1.5	—	—	—
III 少数株主持分	—	—	67,708	0.3	—	—	—
純資産合計	—	—	17,099,343	77.4	—	—	—
負債純資産合計	—	—	22,078,965	100.0	—	—	—

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		増減 金額	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比		金額	百分比
I 売上高	9,973,036	100.0	11,711,442	100.0	1,738,406	14,413,539	100.0
II 売上原価	5,810,563	58.3	6,841,756	58.4	1,031,193	8,398,759	58.3
売上総利益	4,162,472	41.7	4,869,685	41.6	707,213	6,014,779	41.7
III 販売費及び一般管理費	3,720,870	37.3	4,008,903	34.3	288,033	5,058,110	35.1
営業利益	441,602	4.4	860,781	7.3	419,179	956,668	6.6
IV 営業外収益	38,072	0.4	56,353	0.5	18,281	42,854	0.3
V 営業外費用	2,540	0.0	3,374	0.0	833	3,069	0.0
経常利益	477,134	4.8	913,761	7.8	436,627	996,453	6.9
VI 特別利益	69,320	0.7	—	—	△69,320	113,142	0.8
VII 特別損失	41,842	0.4	6,532	0.1	△35,309	53,372	0.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	504,612	5.1	907,228	7.7	402,616	1,056,223	7.3
税金費用	183,926	1.9	310,960	2.7	127,033	364,669	2.5
少数株主利益	2,053	0.0	7,467	0.0	5,414	4,601	0.0
四半期(当期)純利益	318,632	3.2	588,801	5.0	270,168	686,953	4.8

3. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	504,612	907,228	1,056,223
減価償却費	291,857	310,193	414,145
有形固定資産除売却損	15,078	3,982	24,208
連結調整勘定の償却	△6,000	—	△7,920
負ののれんの償却	—	△5,760	—
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△73,264	36,543	△117,077
賞与引当金の増減額(減少:△)	△164,201	△117,808	△7,771
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△19,000	△1,660	△5,600
製品保証引当金の増減額(減少:△)	△13,136	△8,713	△5,642
退職給付引当金の増減額(減少:△)	32,429	15,708	10,095
役員退職慰労金引当金の増減額(減少:△)	△18,016	17,684	△13,996
受取利息及び配当金	△16,803	△27,078	△17,118
支払利息	220	—	250
売上債権の増減額(増加:△)	591,710	△722,855	△252,500
たな卸資産の増減額(増加:△)	△168,515	△941,039	185,461
仕入債務の増減額(減少:△)	△251,064	1,402,523	△66,222
その他	△195,404	△180,107	44,323
小計	510,502	688,842	1,240,859
利息及び配当金の受取額	16,806	25,159	17,122
利息の支払額	△205	—	△219
法人税等の支払額	△408,368	△373,424	△415,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,735	340,577	841,808

(単位：千円)

	前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	金額	金額	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の償還による収入	10,000	24,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△256,370	△153,258	△419,223
有形固定資産の売却による収入	387	—	387
無形固定資産の取得による支出	△170,473	△42,677	△246,978
投資有価証券の取得による支出	△71,653	△69,874	△98,647
投資有価証券の償還による収入	—	50,000	—
金銭信託の満期による収入	257,435	76,130	257,435
その他	2,899	△43,009	1,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,774	△158,689	△495,798
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	△8,100	—	△15,800
自己株式の取得による支出	△205,723	—	△205,723
配当金の支払額	△162,694	△160,523	△162,456
少数株主への配当金の支払額	△480	△480	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,997	△161,003	△384,459
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△488	52	△1,396
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△486,525	20,936	△39,846
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,519,622	7,479,775	7,519,622
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,033,096	7,500,712	7,479,775

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

当社グループは、商品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のガス警報器・検知器を専ら製造・販売及びメンテナンスを行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前年同四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。